

平成28年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

大賞



京都鉄道博物館

京都鉄道博物館は、2016年4月に開業した日本最大級の鉄道系博物館。鉄道の歴史や安全、技術を学べる「地域と歩む鉄道文化拠点」を基本コンセプトに「見る、さわる、体験する」を重視した展示構成により、鉄道ファンのみならず幅広い層に向けた活動を展開。11月時点で100万人を超える来館者を記録。SLの動態保存に代表される鉄道文化遺産の保存・管理・継承を軸に「鉄道文化」という、これまでにない切り口で、関西から多くの人々を明るく元気にすることに大いに貢献した。

特別賞

岡本章(九度山町長)

町長自ら全国の関係者とNHKに対し大河ドラマ「真田丸」誘致活動に取組み、放送開始前から人口4千人余の九度山町を活性化させるべく赤備えスーツに身を包み、プロモーションを先導。和歌山県や関西ゆかりの地の知名度向上に貢献した。また「くどやま芸術祭」の運営をはじめ、住民が主体となり、楽しみながらボランティア活動に携わり、地元一丸となって多彩な活動を展開し、真田ミュージアムの来館者は11月には20万人を突破した。これら取組みは、地域が持つ可能性を掘りおこし、そこに創造的活動を付加するという地域活性化のモデルケースとなるものである。



ニューパワー賞

高橋礼華・松友美佐紀(バドミントン選手)

「タカマツペア」はバドミントン女子ダブルスの高橋選手(奈良県出身)と松友選手(徳島県出身)の愛称。高校生同士だった2007年からペアを組み女子ダブルスで活躍、全日本総合バドミントン選手権大会5度の優勝などの実績を残し、昨年の全英オープン女子ダブルスでも優勝し、その勢いを駆って出場したリオ五輪の女子ダブルスで金メダルを獲得した。オリンピックでの金メダル獲得は、日本バドミントン史上初の栄誉であり、両選手が生まれ育った関西から、日本を明るく元気にすることに大いに貢献したと共に今後の更なる活躍が期待される。



提供：産経新聞社

リオ五輪400mリレー銀メダルチーム

2016年8月に開催されたリオ五輪の陸上男子4×100メートルリレーで日本代表チームは、絶妙なバトンパステクニック(アンダーハンドパス)と総合力を擁して37秒60とアジア記録を樹立、ジャマイカに次ぐ2着となり、陸上トラック種目で日本男子初の銀メダルを獲得する快挙を成し遂げた。個人で100m9秒台が1人もいないチームの走りは世界に衝撃を与えた。チームメンバーが関西に縁がある人も多く、関西から日本を元気にすることに貢献し、東京五輪など今後のますますの活躍が期待される。



提供：産経新聞社

びわ湖ホール四大テノール

びわ湖ホール声楽アンサンブルで出会った四人のテノール歌手で結成されたユニット。※ラ・フォル・ジュルネびわ湖2010でデビュー。オペラ歌手ならではのハイレベルな歌唱と、関西ならではの笑いのあるセンスが融合したステージは話題を呼び、全国各地から公演依頼が相次いでいる。オペラの名アリアから歌謡曲、コントも盛り込むステージは親しみに溢れ、クラシック音楽の普及にも大きく貢献しており、「明るい歌声で日本を元気に!」を合言葉に関西から全国に向けて活動、今後の活躍が大いに期待できる。

※ラ・フォル・ジュルネ：フランス・ナントで誕生したクラシック音楽の祭典。気軽にクラシック音楽を楽しむために、世界各地で開催され、びわ湖ホール(大津)でも2010年よりこの名を冠した音楽祭を実施。

提供：びわ湖ホール

